

26. 虚空蔵山の火山岩類

地 域 東彼杵郡川棚町石木—虚空蔵山

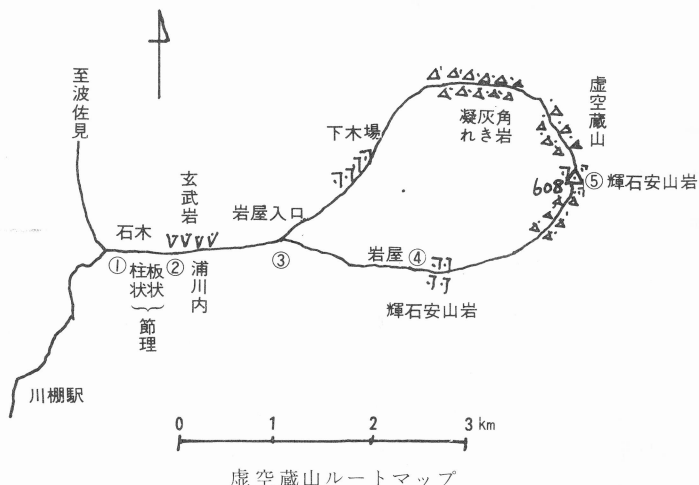
交 通 西肥バス 波佐見行，石木下車

地形図 早岐（1/50,000）

虚空蔵山の名前はあちこちで聞かれるが、川棚町と佐賀県嬉野町の境にそびえるこの山は、海拔 608m のかなり急峻なとんがり帽子の山である。登山路はいろいろの方向から通じているが、川棚から登るのは最もよく、川棚より波佐見行バスで石木までくると、石木より山頂までは約 8km で 1 日のよいハイキングコースとなろう。しかし、その他にも山頂に登るコースは石木より 3km 歩いた岩屋入口から、岩屋を経て頂上まで 4.5km のコースと、木場を経て北回り 5.5km のコースがあり、木場回りにはバスを利用することができ、登山は比較的楽になる。

虚空蔵山には山祭があって地元では秋分の日（9月22日夜登山して23日）の御来光を山頂で拝むならわしである。当日の山の上から眺める日の出は、ことのほか大きく見えるそうである。また山頂から見下すと、西に紺碧の大村湾が広がり、東南には大野原の高原、多良の連峰が指呼の間に迫り、その景観はまさにすばらしい。

虚空蔵山の山容を望見して感ずることは、北松方面に多く見られる玄武岩質の台地性の山と異なること、また山陰系火山の特徴ある角せん石安山岩質のトロイデ型とも似ていないことで、600m 級の山には珍らしく山のおおいが感じられる。山体の岩質は輝石安山岩とその凝灰質角れき岩の互層よりなって、基盤の古第三系（杵島層群）を被覆している。この登山コースの周辺には、基盤岩は見あたらない。しかし、いたるところの露頭に採石場があり柱状節理や板



虚空蔵山ルートマップ

状節理の発達した岩体が見うけられる。

石木の道路ぞいの露頭①には火山角れき岩がある。②の浦川内付近には玄武岩がみられる。岩屋入口より岩屋を経て岩屋神社にさしかかる頃には、平坦な道も勾配を増し道幅もせまくなる。岩屋神社を過ぎて道を登りつめたところの、岩石の露頭④に輝石安山岩がみられる。これより先、杉林を過ぎるとゴツゴツした山肌がみられるが、これらは輝石安山岩質角れき岩である。山頂⑤には輝石安山岩があり、顕微鏡でしらべてみると複輝石安山岩である。複輝石安山岩とは、普通輝石類のような単斜晶系に属するものと、しそ輝石類のような斜方晶系に属するものが含有されている安山岩である。また山の北斜面の登山路にも南斜面と同じ輝石安山岩質角れき岩の岩肌がのぞいている。

虚空蔵山火山岩類と多良岳火山岩類との関係は、同一岩体とは認められない。多良岳火山の最上部の角せん石安山岩とその下部の輝石角せん石安山岩、輝石安山岩質凝灰角れき岩等の岩体を一括した多良岳火山岩類は第四紀の火山活動の産物であるが、虚空蔵山の輝石

安山岩および輝石安山岩質凝灰角れき岩は第三紀火山活動の早岐火山岩類として区別される。

浦川内の玄武岩類は、輝石安山岩ならびに輝石安山岩質凝灰角れき岩より新しい伊万里火山岩類に相当するといわれている。

(山本寿一)



虚 空 蔵 山